

# 船場のまちなみパーツ

## ～ 建物ディテールから見る船場の魅力 ～

今年の「いま」「むかし」展のテーマは「まちなみパーツ」

船場のまちを歩いていると、美しい装飾が施された窓や扉、こんなところに動物が？！など、  
たくさんの「まちなみパーツ」を見つけることができます。

協議会役員が実際にまちを歩きまわって見つけたたくさんのまちなみパーツを、酒井一光学芸員のご協力を得て  
パネルにまとめました。近代建築を中心に、戦後ビルや木造建築、現代の建物まで、幅広く取り上げています。  
建物オーナーさんの思いや、パーツを収集した役員のコメントと共に、船場の隠れた魅力をお伝えします。

今回のパネル製作にあたり、貴重な資料やコメントを快くご提供下さいましたビルオーナーはじめ関係者の皆様、  
監修をご担当下さいました大阪歴史博物館 酒井一光学芸員に深く感謝申し上げます。  
本当にありがとうございました。

2013 年 11 月

船場地区 HOPE ゾーン協議会

専門部会(近代建築等)メンバー 一同

船場は近年、全国的にみても近代建築がたくさん残る地域として注目を集めています。近代建築とは、  
一般に明治から昭和初期に建てられた洋風の建築を指しますが、戦後しばらく、日本万国博覧会の頃  
までの建築を含める場合もあります。近代建築には、さまざまな装飾や変わった形の扉や窓、看板などが  
みられます。これら魅力的なパーツは、歩く人の目をひき、心に残る風景となります。こうした細部からは、  
歴史の厚みとともに、そこに住み、働く人たちのまちへの思いが感じられます。“まちなみパーツ”をみた後  
は、少し視点をひいて建築の全体やまちなみにも思いを馳せていただければ、いつものまちが違ったもの  
にみえてくるかもしれません。まちなみの全体と細部をみわたすことは、まちづくりの大切な一歩なのです。

大阪歴史博物館学芸員 酒井一光

# Area \* Map

- 近代建築 建物特集
- 近代建築 窓・扉特集
- 戦後ビル～現代建築 編
- ◆ 窓・格子パーツ
- ◆ 番外編パーツ



# 1. 近代建築

近代建築の中でも、特徴的なパーツが多い7つの建物を特集します。

建物オーナーさんのお話も交えながら、各建物の魅力をご紹介します。

建物特集の後は、「窓」と「扉」にスポットをあてて、その魅力をご紹介します。

# 大阪倶楽部



謎の怪獣

建物正面の石柱の頂に載る怪獣の彫刻。紳士の社交場の守り神なのだろうか....。

1912(大正元)年設立。会員制の紳士のための社交場。

初代の建物は、1922(大正 11)年に火事で焼失.....。

1924 ( 大正 13 ) 年に現在の建物が再建されました。

2 代目大阪倶楽部の設計は、安井武雄。

自由で独創的な表現が特徴。

当時の工事概要には「南欧風の様式に東洋風の手法を加味した」と記されています。

全面を覆い尽くす茶色の粗面タイル、

アーチに刻まれた植物模様、

トータムポールの謎の怪獣.....。

今も英国風会員制社交倶楽部としての伝統を守り続ける頑なな姿勢とあわせ、

どこか幻想的で、秘密めいて、

心惹かれる建物です。

建物 data

所在地:中央区今橋4 - 4 - 11 / 建築年:1924年(大正13年) / 設計:片岡建築事務所(安井武雄) / 【国登録有形文化財】



1階正面の窓



竜山石の大きなアーチで覆われている。そのなかにタイルで凹凸模様を作り、窓は小さく控え目な姿をみせている。このアンバランスともいえる1階窓の小ささが気にならないほど、アーチとタイルの飾りがきいている。このアーチの存在により、1階には安定感が生じている。



華麗なテラコッタに包まれた階段室窓



この窓が際立つのは、そのサイズと周囲に施されたテラコッタ装飾による。なぜこの位置に、破格に豪華な衣装に身をつつんだ窓があるのか、見る者に謎かけをしているようだ。華麗なるこの窓から登場し、台詞を語る者がいれば、舞台装置としても優れたものとなろう。残念ながらバルコニーではないために、外に出ることはできない。だが、見る者に「ロミオとジュリエット」の一場面を想起させるような、あまりにも印象的な窓である。あるいは、実際にそこに出られないからこそ、人びとの想像力を過剰に刺激するのだろうか。



甕

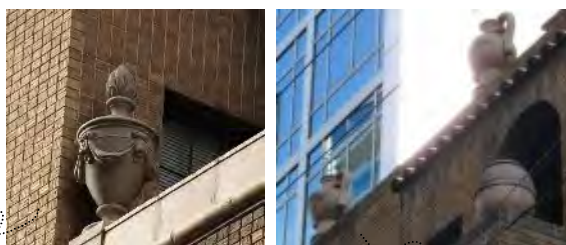


豊穡を意味するという「甕」の装飾。他の倶楽部建築にもみられる。建物によって、中に入っている物や形が違って面白。

綿業会館の甕



中央電気倶楽部の甕



タイル



4階正面の外壁を飾るアーチ。一つひとつのディテールが芸術作品のような完成度を誇る。

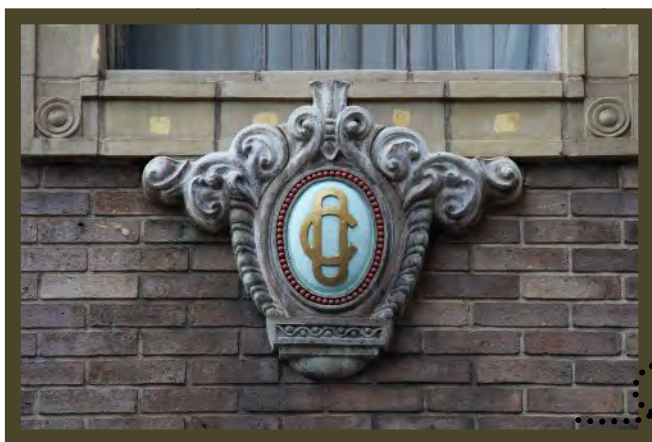


建物オーナーさんにお聞きしました！



好きなパーツ

創設時に決められたOCのエンブレム。社交倶楽部で社章(マーク)を保有する所は希有で、今後とも大切にしていきたいと思っています。



# 高麗橋野村ビルデザイン

黄土色の壁、斜めにせり出す瓦の帯、角の丸み、三日月を載せた門松を思わせる入口の装飾物。

町家でも現代風のオフィスビルでもなく、洋風建築でもない。銀行や証券会社などの洋風建築が多い堺筋の界限で、東洋の雰囲気を持つこのビルは、ひととき異彩を放っています。

野村財閥を築いた実業家・野村徳七が設立した会社「野村合名会社」の賃貸ビル第1号として、当時、野村銀行本店等の建物設計で信頼を得ていた安井武雄が設計しました。

同じく安井が設計した会員制の大阪倶楽部と比べると、緊張感の中にも親しみやすいデザインになっています。



建物 data

所在地：中央区高麗橋2 - 1 - 2 /

建築年：1927年（昭和2年） / 設計：安井武雄建築事務所



月



「発展・成長」を意味する三日月。満州にあった装飾のモチーフともいわれています。安井武雄は満州で10年間くらい設計活動を行っていました。（南満州鉄道株式会社建築課技師）エントランスホールの天井には「太陽」モチーフの装飾があるそうで、「月と太陽」の合わせ技となっています。



もしもこれが竹だとしたら・・・

竹には、しっかり根をはり、四季を通じて緑を保つ、という意味が。誠実、自制心、透明、慈悲、永久、質素の象徴とされています。玄関の両脇にあるので、「門松」と表現されることも。

月と竹の組合せ...  
まさか「竹取物語」？考えすぎ？



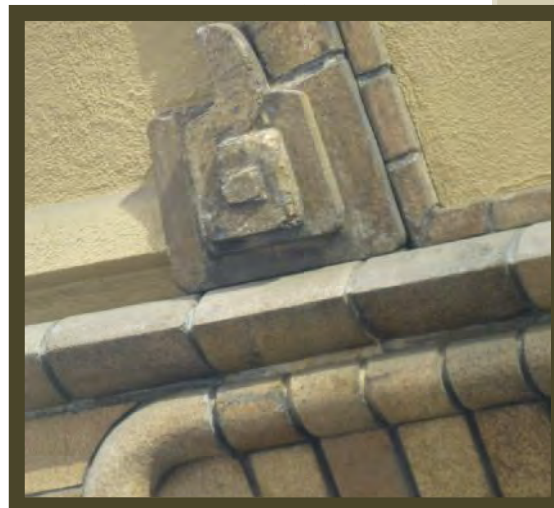
竹

よく見ると、最上階の底に小さな穴が開いています！何だこれは？水抜き？  
瓦の目地と同じピッチで開けてます。

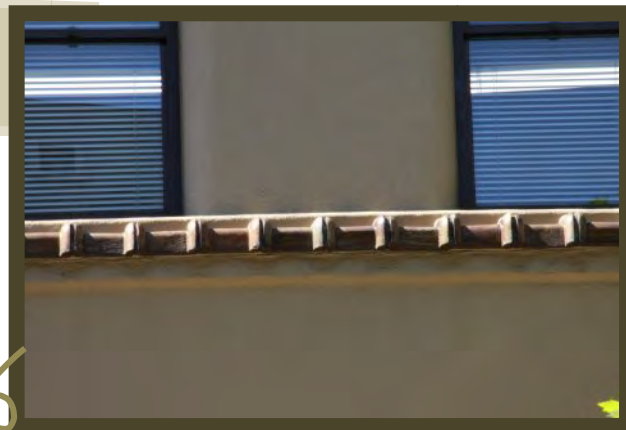


同じく安井武雄設計の東京の日本橋野村ビルディングにももの底にも穴が開いていました！

渦巻き文様



水平に走る瓦の帯



外観には各階の境目に斜めにせり出した水平な瓦の帯が走っている。もしこの帯がなかったら、建物の印象はメリハリのないものになってしまっていただろう。

穴



設計者・安井武雄が、6階に事務所を置いていたこともあるそうです。（昭和3～20年）



一階外壁の素焼きの肌合い、エントランス・ホールのアーチまわりに用いられたタイルの黒光りする釉薬の輝きなど、大阪倶楽部に負けない焼きものの味わいをかもし出したビルといえる。

「窓から読みとく近代建築」より



# 大阪ガスビルディング

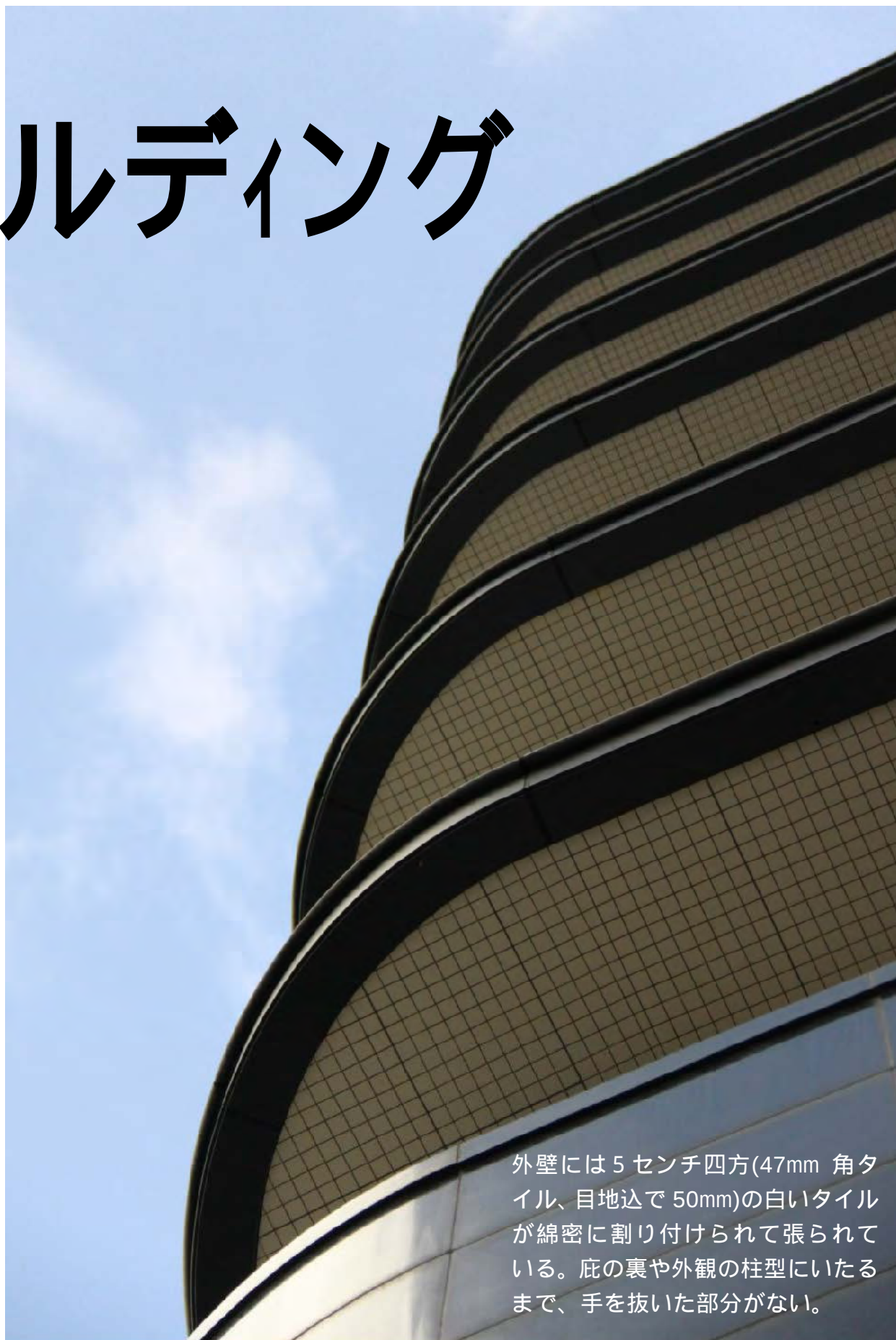
ガス器具のショールーム、料理教室、ホール、レストランなどを備え、百貨店と並ぶ新時代の文化発信基地として、1933(昭和 8)年に誕生。

設計は大阪倶楽部や高麗橋野村ビルディングを設計した安井武雄。2つの作品とガスビルのデザインは大きく異なって見えます。

水平、垂直線を基調とするデザイン、鉄・ガラス・コンクリートといった工業製品の利用など、ガスビルはモダニズム建築の特質をよく表しています。

しかし、南東角の曲面、庇の厚み、階段の形など、様々な形態はこれ以上ないほど熟考されているのです。

彼はガスビルの建築を「自由様式」と呼びました。人の模倣を嫌い、大阪の場所性、建築の性格を的確に読み込んで、たえず新しい建築を生み出した安井にぴたりとくる言葉ではないでしょうか。



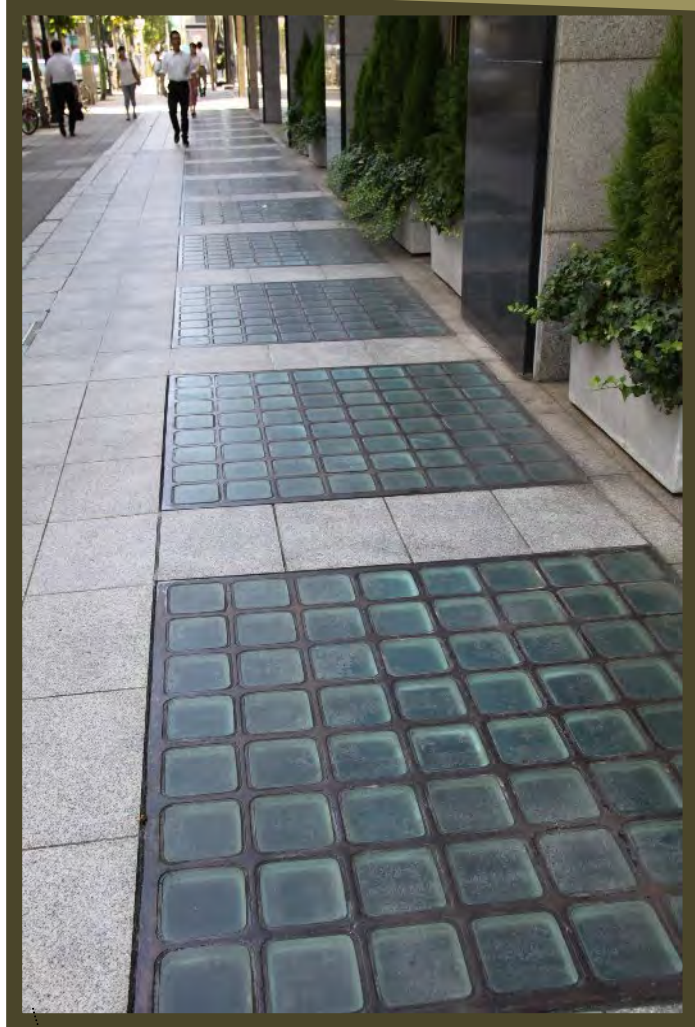
外壁には5センチ四方(47mm 角タイル、目地込で 50mm)の白いタイルが綿密に割り付けられて張られている。庇の裏や外観の柱型にいたるまで、手を抜いた部分がない。



建物 data

所在地: 中央区平野町4 - 1 - 2 / 建築年: 1933 年(昭和 8 年) / 設計: 安井武雄

## 地下室の明かり窓として設けられた舗道窓



通常、舗道窓に用いられるガラス・ブロックが、1階の窓の一部や、1、2階のガス展示場を結ぶ主階段の窓に用いられている。ガスビルにおける安井の大きな試みの一つである。



ガスビルは機能主義的なモダニズム建築だが、水平線を強調する底のぼってりとした厚み、付柱風の半円柱が生み出す軽快なリズム感など、そこに無機質な印象は全くない。



ガラス・ブロック



### 舗道窓とは？

路面に開けられた窓。主として地下室の採光を目的としたもの。建物と接する路面に円形、ないし正方形のデッキ・グラス(地下室天井に用いるガラス・ブロック)を入れたものが多い。

## 建物オーナーさんにお聞きしました.....!



### ガス燈



#### 好きなパーツ

##### ○ ガス燈

北館玄関前 ガス燈 は、都市ガス会社のシンボルである。関連して、三休橋筋でもガス燈の灯るまちづくりが進められている。

##### ○ 曲面ガラス窓とポルティコ

南館 曲面ガラス窓とポルティコ は、南館建築以来変わらず、展示空間として、御堂筋に開かれた柱廊としてある。これによって交流性と発信性のあるガスビルとなっている。御堂筋沿道環境形成の嚆矢として、ビル低層部デザインコードに影響を与えてきた。



曲面ガラスとポルティコ

#### 建物への思い

ガスビル竣工80周年を迎えて、南館玄関ホール内に、ガスビルの歩みを紹介するパネルを設置した。

ポルティコでのバザー活動や、1階フラムテラスでの催しを行っている。例年、大阪クラシック、LIVING & DESIGN 展の特設展示での船場エリアの紹介、各種サロン活動(船場・ひらの町サロン等)を実施している。



# 芝川ビル



芝川ビルを代表する装飾。空襲により破損した入口上部のレリーフは、平成 2 1 年度のまちなみ修景工事によって、竣工当時の姿に修復されました。

他に類を見ない外見とテクスチャ。

芝川ビルは、戦前期まで芝蘭社家政学院という女学校としても使われていましたが、建物の容姿とはなかなか結びつきません。

芝川家四代目当主の芝川又四郎氏が、「火事・地震に強い建物を」と建設を決めました。

しかし、完成した建築には耐久性だけでなく、

竜山石（たつやまいし）をふんだんに用いた、マヤ・インカ文明を思わせる濃密な装飾が施されました。

綺麗に着飾った女学生「いとはん」たちが通った校舎は、今もオフィス街の一角で圧倒的な存在感を醸し出しています。

建物 data  
所在地：中央区伏見町 3 - 3 - 3 / 建築年：1927 年（昭和 2 年 / 基本設計及び構造設計：渋谷五郎 / 意匠設計：本間乙彦



ちょっとコワイ…でも、マヤ・インカ感あふれるレリーフ



アールを描く外壁の両端にひとつずつ、ドクロのような人面飾りがみられる。ドクロはマヤ建築での神聖なモチーフだったというが、ここでははたして何を意味するのだろうか。



竜山石って？

竜山石は兵庫県高砂市伊保町竜山に産する石材。軟質ではあるが耐火性に富む。姫路城の石垣、青山ビルの腰壁にも使用されています。



フランク・ロイド・ライトの影響

正面玄関周りの装飾などには、1923年に建てられたフランク・ロイド・ライトの帝国ホテルの影響があるとも言われています。ライトは他にも、芦屋市にある旧山邑邸（現ヨドコウ迎賓館、1924）などを設計しています。

帝国ホテル



旧山邑邸



芝蘭社家政学園（しらんしゃかせいがくえん）

芝川ビルの竣工当時は、建物すべてを事務室や応接室、娯楽室など自家用として使用するつもりでしたが、余裕があったため、教育に関心を持っていた又四郎氏の意向で「芝蘭社家政学園」という花嫁学校としても使われました。学園では、洋裁、和裁、習字、生け花、茶道、割烹など多彩な授業が行われ、昭和4年の開校から昭和18年の閉校までに、関西一円の名門女学校を卒業した3,000人を超えるお嬢さんたち、いわゆる「いとはん」たちが学び、現在の女子短大のはしりであったとも言われています。

割烹教室の風景



建物オーナーさんにお聞きしました！



好きなパーツ

1階ショコラティエ「TIKAL」梁下の四体のマタシロウ像

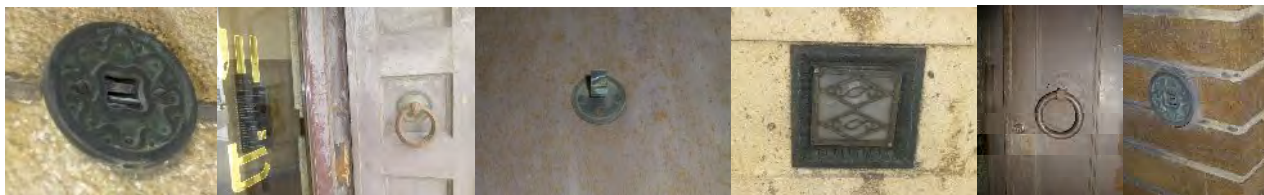
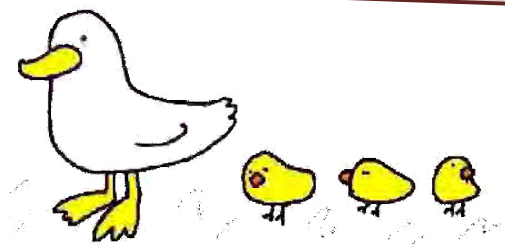
<理由>

最初に見た時のインパクト大！皆様の記憶に残る特徴的な4体の像は、芝川ビル施主（芝川又四郎）に因んで「マタシロウ」と名付けられ、ビル関係者に愛されている。今年はその姿を型どったチョコレートも限定販売され、芝川ビルのマスコットとして今後の活躍を期待される。



建物に対する思い

大阪が繁栄し、活力に溢れた「大大阪」時代に建てられた芝川ビルは、その材料、構造、技術、デザイン...どれをとっても今の時代に同じものは建てられない。今後も可能な限りこの宝物を後世に伝えていけるよう力を尽くしたいが、それは過去の遺産としてではなく、建物竣工時、時代の最先端を志向してこのビルの建設に力を注いだ先人達、の精神を受け継ぎ、「今この時」が常に魅力的な建物であり続けるよう努力していきたい。



# 三井住友銀行 大阪中央ビル

金融の中心地であった堺筋北浜界限の栄華を今に伝える銀行建築。

花崗岩のイオニア式列柱や、入口上部の三角屋根など、古典主義**建築**のお手本のような存在です。

銀行は建築の重厚さで信頼感を表現するため、古典主義の意匠が好まれました。

ブロンズ扉の装飾や、列柱上の楕円形の飾りなど、重厚な中にも、きめ細やかな美しい装飾が光ります。

設計したのは曾襴中條建築事務所。戦前期最高の建築事務所とも謳われた事務所最後の作品です。



扉の装飾が美しい

建物 data

所在地: 中央区高麗橋1 - 8 - 13 / 建築年: 1936年(昭和11年) / 設計: 曾襴中條建築事務所



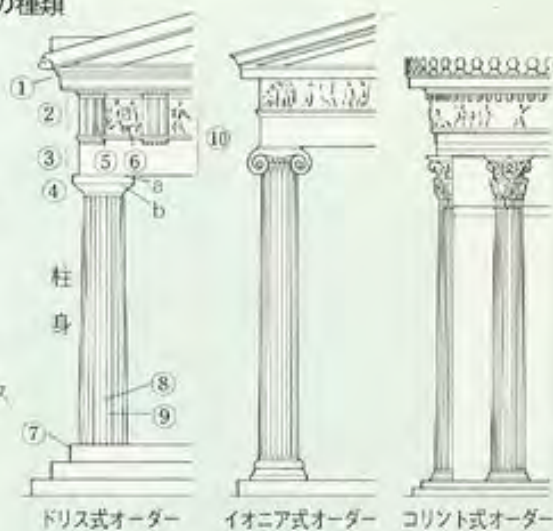
## イオニア式柱頭



ひつじの角みたいな渦巻きデザイン。

### 代表的なオーダーの種類

- ① コーニス
- ② フリーズ
- ③ アーキトレブ
- ④ 柱身
  - a: アバクス
  - b: エキヌス
- ⑤ トリグリフス
- ⑥ メトープ
- ⑦ ステュロバテース
- ⑧ アリス
- ⑨ フルード
- ⑩ エンタブレチュア



イオニア式って？

古代ギリシア建築における柱を中心とした建築の構成法(オーダー)のひとつ。ドリス式、コリント式と並ぶ3つの主要なオーダーに位置づけられる。礎盤がつき、渦巻き装飾の柱頭をもつ。



三井住友大阪中央支店では、外部がイオニア式で、内部がコリント式。



ここにも渦巻き模様が。

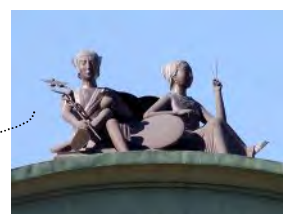


### 商業の神様・メルクリウスの杖



メルクリウス (Mercurius) : ローマ神話に登場する商業神。  
英語読みのマーキュリー (Mercury) でも知られています。

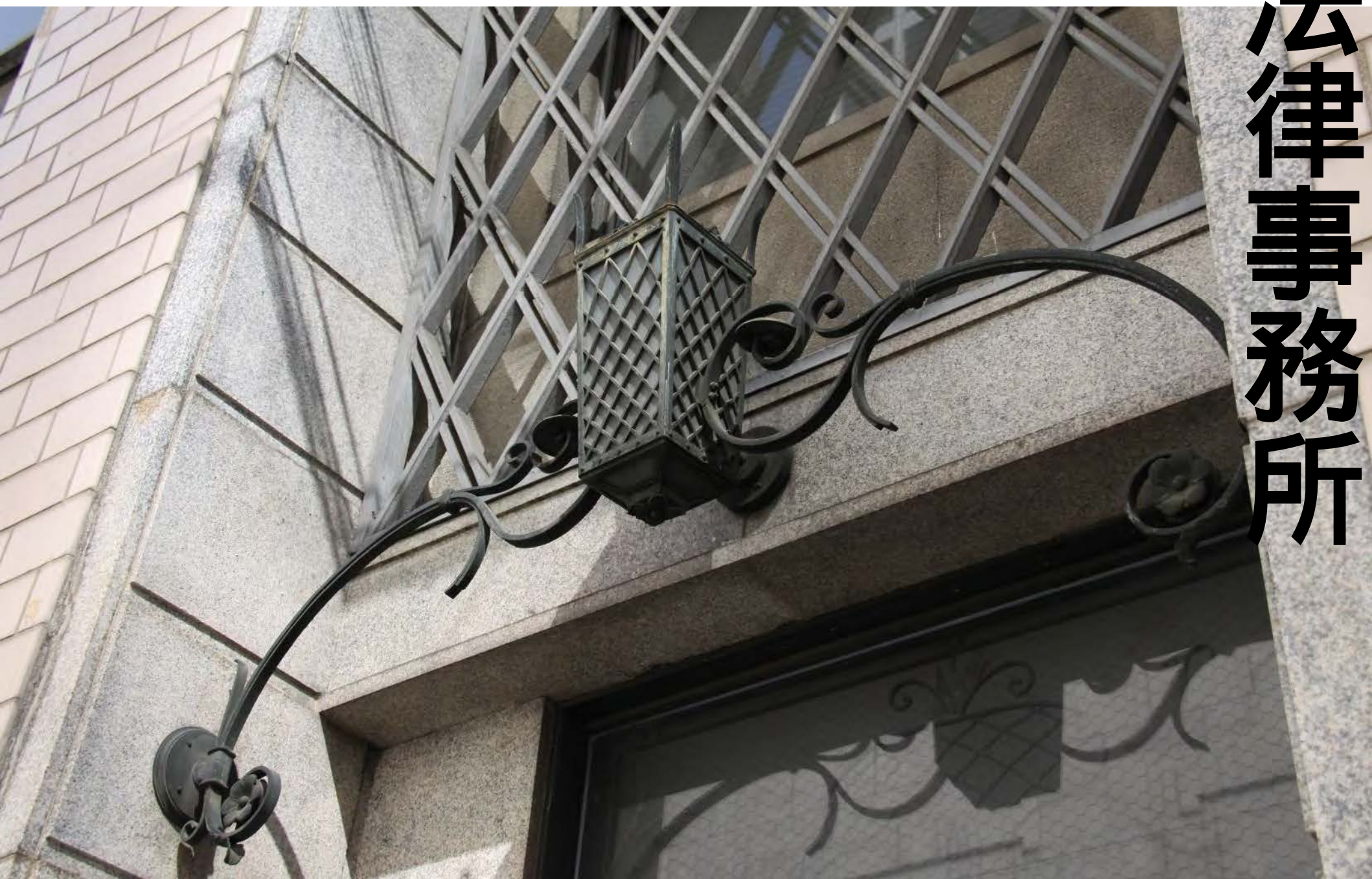
‘ひつじの角’の上には、‘メダイヨン’と呼ばれる楕円形の飾り。  
ここには2匹の蛇が絡まった、翼のついた杖が描かれている。これはカドゥケウスといって、ローマ神話に登場する商業の神・メルクリウスの持ち物。ちなみに、大阪市中央公会堂の正面にはメルクリウスが座っていて、同じ杖を持っています。  
さすが、商人のまち・大阪！



左側が中央公会堂の‘メルクリウス’像  
右側は科学・工芸・平和を象徴する‘ミネルバ’像



# 中村健法律事務所



3 階建てのクリーム色のタイルで覆われた小さな建物。

現在の所長の父・中村健太郎氏が、建築家・村野藤吾に依頼して建てられました。村野の初期の作品です。

建設当時、周りの建物は日本家屋がほとんどで、とてもモダンな法律事務所でした。

小さくてシンプルな建物ですが、繊細な装飾がところどころに光っていて、隅々まで神経が行き届いています。

建物 data

所在地: 中央区北浜 2 - 4 - 10 / 建築年: 1936 年 (昭和 11 年) / 設計: 村野藤吾



## 装飾格子



扉上部や3階の窓には、装飾格子がはめられています。



建物の規模に比べると、やや大きめの窓や玄関が特徴的。



外観はシンプルなデザインだが、良く見ると、繊細で美しい装飾が施されている。



## タイル



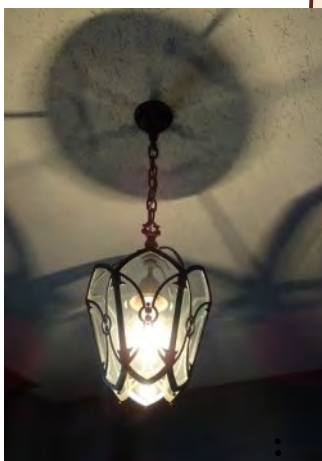
やや大きめのクリーム色のタイル。まちにやさしくとけこむ。



玄関の扉を開けて中に入る。奥行き方向に4、5メートル進むと、さらに事務所の扉がある。この通路に入った瞬間、「明るい！」という言葉がまず浮かんだ。そして美しく懐かしい雰囲気を感じた。それは今まで体験したことのないような懐かしさであった。わずか数メートルの通路は、この建築がただものでないことを感じさせる。



建物オーナーさんにお聞きしました！



## 好きなパーツ

照明は建設当時のままで、今も使っています。装飾タイルがある暖炉は、昔煙突がありました。

建物の思い出など  
父が、村野藤吾氏に設計してもらったとよく自慢をしていましたが、初めは図面もなにもないので、嘘なのではと疑っていました。その後、建設当時の建築雑誌に図面や写真が掲載されているのを見て、本当だったのか、という思いでした。  
入口の看板は父の時代から使っている「中村健太郎法律事務所」のままです。外そうかな、と思いつつも、今も使っています。



# 清水猛商店



一見、洋風の外観ですが、木造の建物です。

間口3間の奥行き深い敷地に建っていて、通り側から順に店舗棟、居住棟、土蔵と続く典型的な表屋造りの構成をとっています。

3連のアーチ窓、煉瓦風のタイルときて、かわいらしく載っている、小さな赤い和瓦。

金属製の庇や、丁寧な装飾が施されている吊り材や支持金物、照明器具も目を惹きます。

見れば見るほど引き込まれる、何とも不思議なデザインです。

建物 data

所在地：中央区淡路町3 - 5 - 6 / 建築年：1924年（大正13年） / 設計：住友工作部（小川安一郎）



3連のアーチ窓



窓だけ切り取ってみると完全に洋風の建物。

和風建築では、横長で水平にスライドする窓(ひき違い窓)が多いですが、ここでは縦長窓で、上げ下げ窓になっていることや、上部がアーチになっている点が洋風建築らしさを出しています。アーチのかさなりあう様が美しい。

突き出し看板



看板は和風。  
突き出し看板は建物のど真ん中に付けられている。

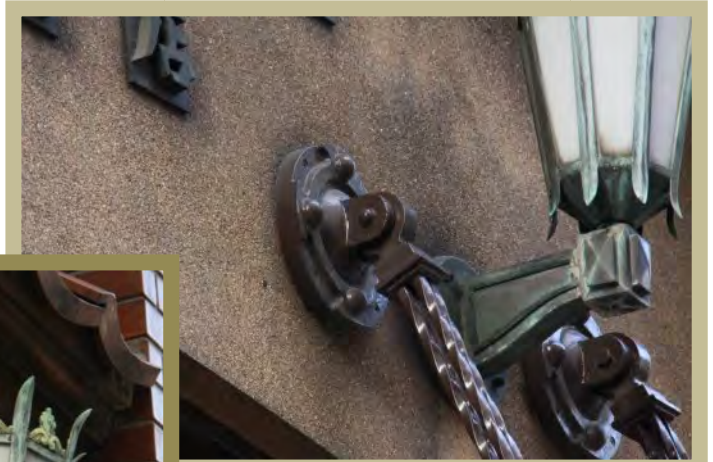


正面看板

庇を支えるディテールにも面白みがある。ここでは建築金物も大切な特徴といえよう。



ファサードのデザインは1階と2階で大きく上下に2分割されている。外観の主要部にはタイルが張られている。その境目に小さな赤い和瓦がちょこんと載っていて、アクセントになっている。



吊り材や照明の丁寧な装飾が魅力的。



ワイヤーで吊られた金属製の庇も見応えあり。



# 窓



建築にとって窓はどのような存在なのだろう。

建築の主要な外観のことをファサードと呼び、建築家はそのデザインに大きな労力をかけてきた。ファサードのデザインを決めるのは、多くの場合、建築のシルエットと窓の配置である。四角い箱形のビルであれば、窓のデザインがその表情を決定するといってもよい。建築の顔、それは最終的に窓によって決まる。

窓は建築を知るための入口である。



伏見ビル



伏見ビル



武田道修町ビル



板谷歯科医院



窓としての機能はないが、見る人に窓があるように見せる装飾。

# 近代建築の窓

塔屋の下の5階から3階まで一直線にのびるオリエル窓、その真下の2階には円窓がある。この2つの窓は一組となって、時計の振り子をかたどっている。適度にデザインの遊びを織り込むことで、誰からも愛されるような親しみのある形を生み出している。(窓から読みとく近代建築)

生駒ビルヂング



北浜レトロビルディング



セルリアーナが印象的。



セルリアーナとは？

3つの横に連続する縦長窓からなり、中央の窓は両脇の窓に比べて幅が広く、上部が半円アーチとなる。イタリアの建築家セルリオの出した本に初めて登場したことから、この名がある。

建築家パラディオが好んで用いたことからパラディオ窓とも呼ばれるし、ヴェネチアン・ウィンドウともいう。



青山ビル



今橋ビルディング



旧八木通商



早稲田屋ビル



新井ビル



窓まわりのデザインは左右対称の幾何学的な植物紋を繰り返している。



# 扉



扉は、建築の内と外をむすぶ。

とりわけ正面玄関にあたる扉は、建築の顔といえる。街路に面しているため、建築全体の中でも特に注意深く設計されていることが多い。通りを歩く人は、扉から内部の様子を想像し、期待を膨らませるかもしれない。

扉のデザインもさることながら、扉周辺の石やテラコッタ（建築装飾用のやきもの）、欄間などの装飾を含めた扉まわりで「絵になる風景」こそ、まちなみを豊かなものにしてくれるだろう。

もっとも、扉は建築のセキュリティの上でも重要な場所だから、当時のものがそのまま残っているとは限らない。新しい扉に替える際、あえて現代風にするか、あるいはもともとのデザインを尊重するのか、古いデザインと対話しながら施主や設計者もさぞや悩んだはずである。そんな目で扉のデザインをみても面白いかもかもしれない。

旧八木通商



新井ビル



武田道修町ビル



武田道修町ビル

テラコッタ(建築装飾用のやきもの)によって、華麗に縁どられ、他のビルにはない重厚な雰囲気です。このテラコッタは、遠くから見ると直線的で堅い印象ですが、近寄ってみると柔らかな植物文が連続しています。

新井ビル

折戸の扉は、その先の階段室とあわせ、この辺りでもひととき古風なたたずまいです。折戸は、平成23年にもとのデザインを踏襲して新しくされました。



青山ビル



青山ビル

蔦に囲まれたビルで、アーチ形にひらかれた玄関は、神秘的な雰囲気です。扉の上を飾る欄間の繊細な装飾は、内部に広がる豊かな空間への期待を膨らませてくれます。



北浜レトロビルヂング

ゆるやかなカーブを描く低い石塀に誘われて、自然と石段をのぼりたくなります。両脇の上げ下げ窓、扉上部の欄間のデザインも扉とよく調和し、どこかロンドンの街角のようです。肌色の外装タイルは、英国のイエロー・ブリック(黄色い煉瓦)を連想させます。

北浜レトロビルヂング



# 近代建築の扉





#### 伏見ビル

大きな両開きのガラス扉が、内開きに来訪者を出迎えてくれます。床のモザイクタイルの幾何学模様は、大正時代後半から昭和初期の雰囲気をよくあらわしています。

通りに面した扉と窓は、いずれも上部がアーチ形になっており優しい表情を浮かべています。まちに対して開かれており、思わず中をのぞいてみたくなります。



綿業会館

#### 綿業会館オーナーさんからのエピソード

**好きなパーツ**  
正面玄関の鉄扉。繊細な意匠がほどこされ、美しい曲線を持つ扉。

**建物への思い**  
重要文化財である綿業会館の維持、管理を行い、文化価値のある同会館の普及活動に努めていきたいと思っています。

#### 明治屋 オーナーさんからのエピソード

**好きなパーツ**  
入口上部の鉄格子。重厚な木製扉が大正建築の趣を感じさせる。

**建物への思い**  
大正13年当時のメインストリート、堺筋に竣工された建物は現在の街並にも違和感なく溶け込みつつも、歴史の風情が感じられる。当時のレトロな雰囲気は残しつつも、少しずつ手を加えながら有効活用していければと考えている。



明治屋



生駒ビルヂング



#### 生駒ビルヂング

このビルでは、全体に竣工当時の材料や意匠がよく保存されていますが、扉は現代風のデザインです。ガラス扉からはレセプションがのぞきみえます。ビルの用途が、老舗時計店からコンサルジュ・オフィスに変化したことを、さりげなくも明快に伝えています。

## 2. 戦後ビルから現代まで

戦後ビルや現代建築の、時代を象徴するデザインの窓や格子、また、カッコイイ、カワイイ、不思議なパーツたちをご紹介します。

合わせて、‘1. 近代建築’で紹介しきれなかった近代建築の魅力的なパーツも合わせてご紹介します。



\*輸出繊維会館\*

# 窓



\*大阪朝日生命館\*



\*日建ビル1号館\*



\*ヌカタビル\*

\*大阪毛織会館\*



\*柳湖堂ビル\*



\*フジカワビル\*



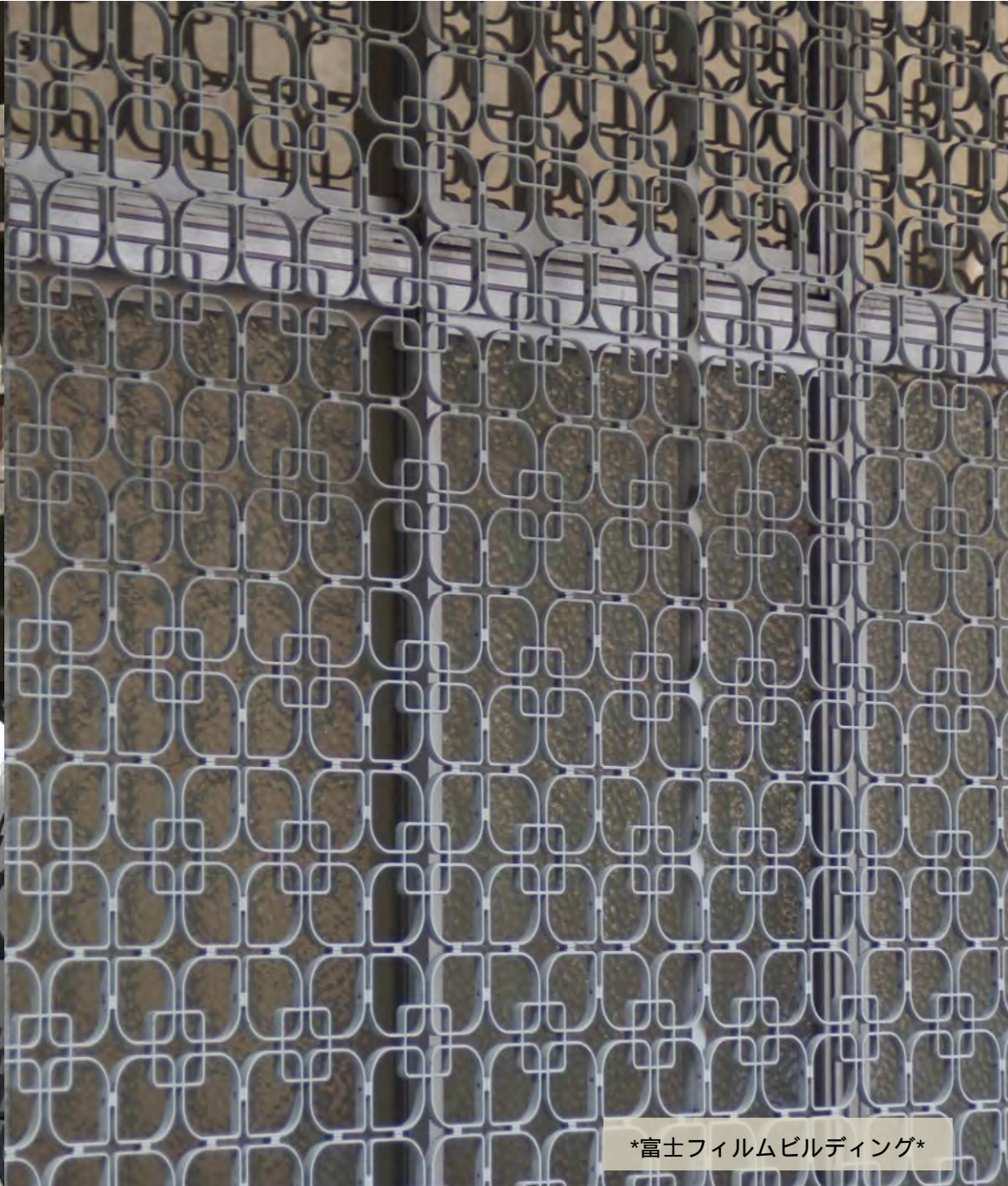
\*綿業会館新館\*



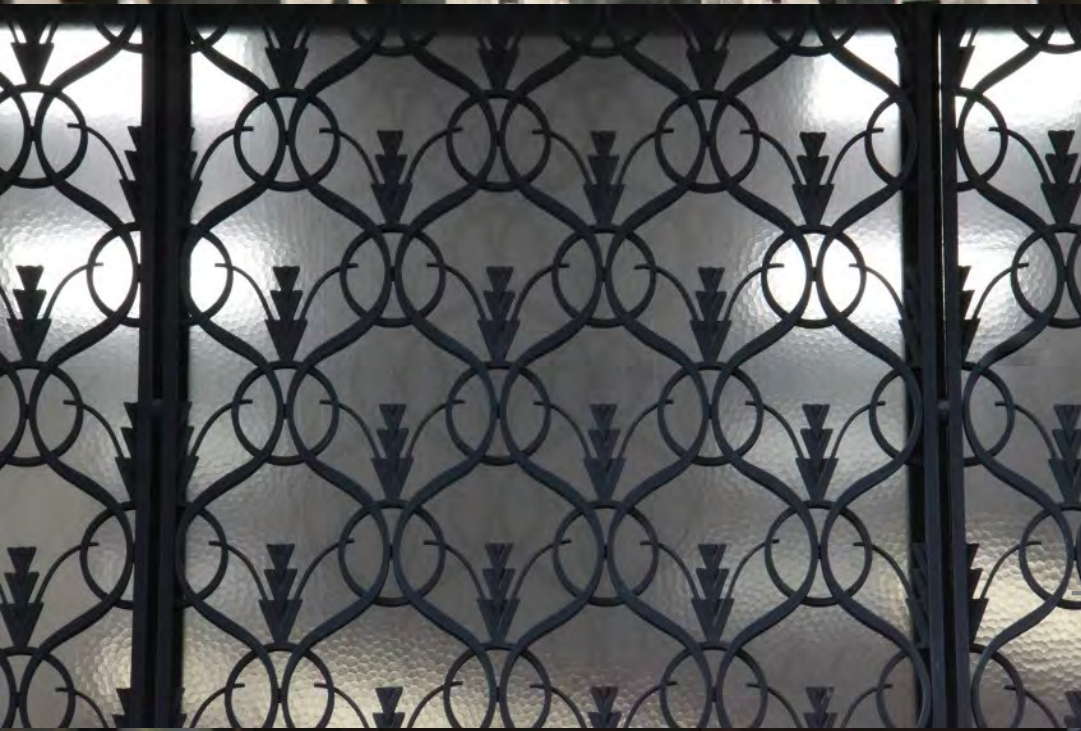
\*野村不動産備後町ビル\*



\*山善製薬\*



\*富士フィルムビルディング\*

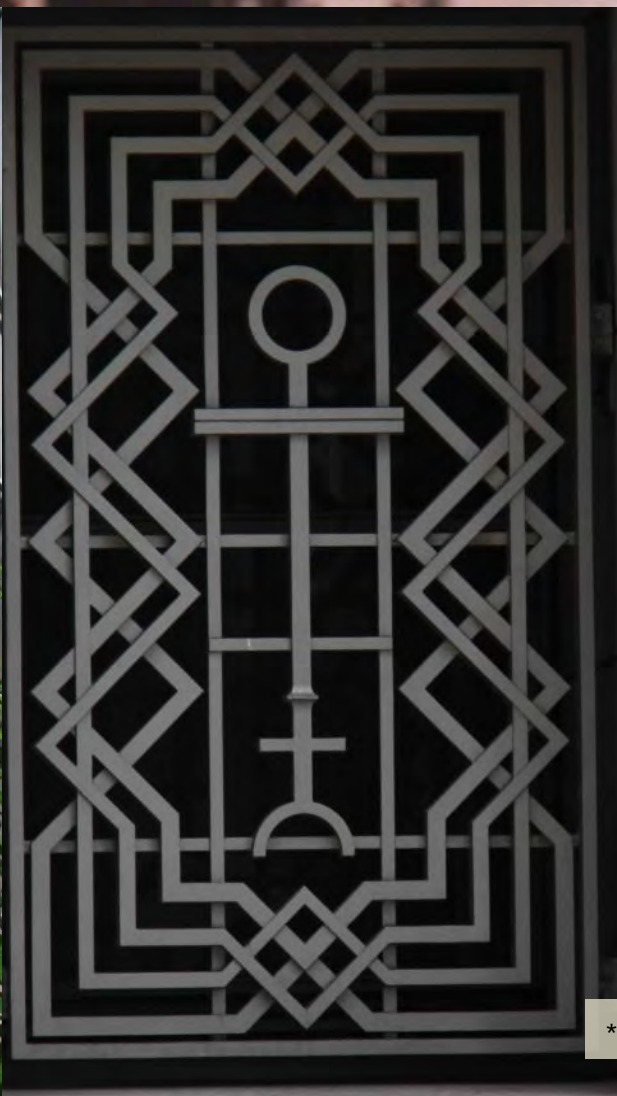


\*正和\*

# 格子



\*三宝亭\*



\*大阪証券取引所\*



\*甲南商事\*

\*旧小西邸\*

# 番外編

北浜レトロビルディング

青山ビル

伏見ビル

伏見ビル

オーナーさんからのエピソード

この看板は40数年ほど前に取り付けたもので、以前は玄関シャッターの上に2m程の横長の大きな看板「伏見町ビルディング」が掲げられていました。今から思うととってもおけばよかったな、と思うこともあります。

## \*サイン\*

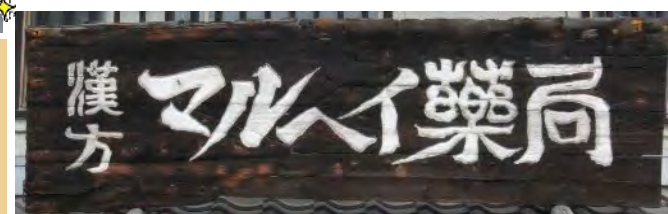
よく見てみると・・・  
『北の』になってる！？



\*大阪府商工会館\*



協議会役員の「私のイチ押し！まちなみパーツ」  
『ポッチャリ電話でかわいいなあ、なつかしいなあ♪』  
藤原 久恵



## \*POST\*



\*大阪ガスビルディング\*

\*吉田理容所\*



\*ダル・ボンピエーレ\*



\*美々卯道修町店\*

# \*カッコイイ系\*

キャーカッコイイ!!



\*綿業会館新館\*



\*本町ビルディング\*



\*輸出繊維会館\*



\*早稲田屋\*

## \*照明\*



\*岡三証券\*



\*銭高組分室・分室奥蔵\*



\*大阪府商工会館\*



\*正和\*



\*吉兆\*



\*大阪証券取引所\*



\*大阪基督教団浪花教会\*

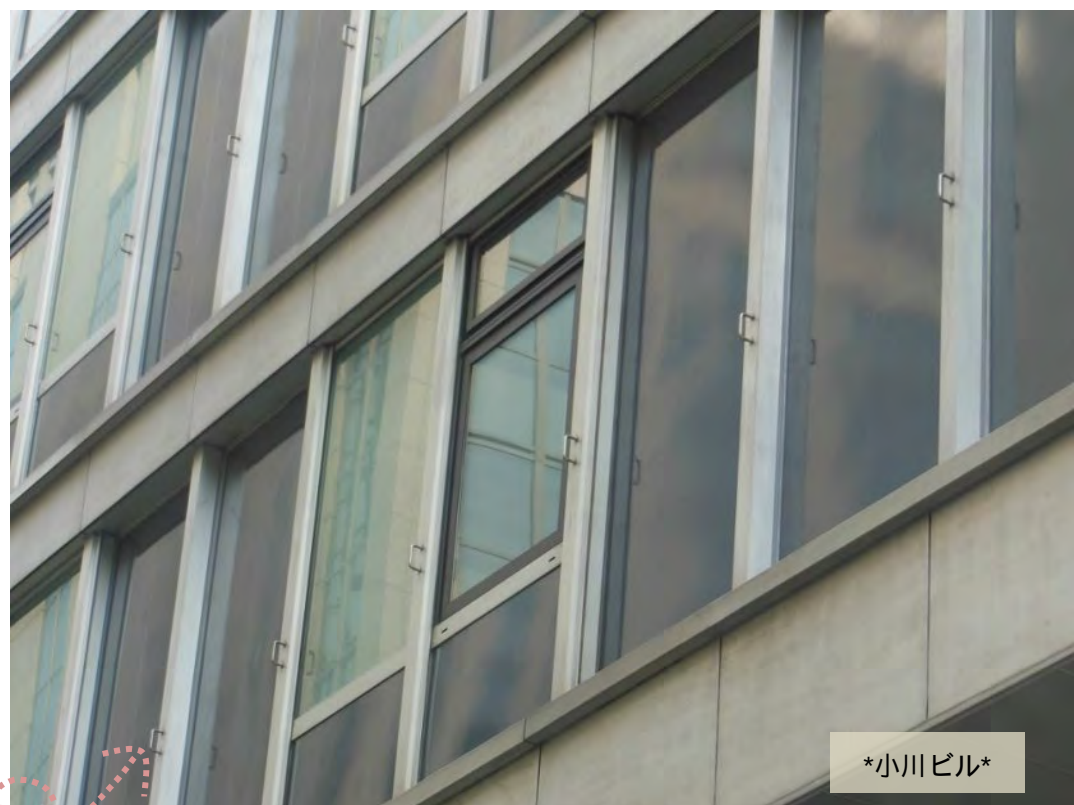
協議会役員の  
『私のイチ押し! まちなみパーツ』  
『中世のヨーロッパを思わせるようなフォルムで、古い教会とお似合い。ファサード上部の窓のような装飾と下の扉をつなぐデザインとしても秀逸。』

池田 吉孝

\*取っ手\*

\*totte\*

戦後ビルの壁面にある‘取っ手’みたいなもの。これは何のために？



# \*レリーフ\*

協議会役員の‘私のイチ押し！まちなみパーツ’

『開平小学校の門柱数ヵ所に設置されているレリーフの詳細は判らないが教育に関わる物証ではないか。何れにしても船場内の伝統を引き継ぐ学び舎に相応しい装飾である。』

別所 俊顕

\*開平小学校\*



# \*et cetera\*

\*くるくる\*



\*関西ペイント\*

\*つぼ\*



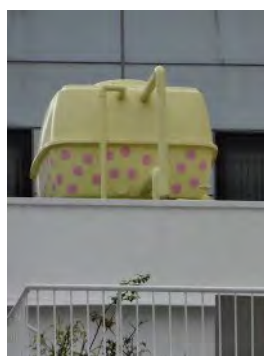
\*吉田理容所\*



\*明治屋ビル\*



\*ゴージャスな  
窓周り\*



\*カワイイタンク\*



明治屋 オーナーさんの好きなパーツ

近くからは一見見逃してしまい  
そんな所に設置  
された塔屋・壺  
の装飾がシンプ  
ルな建物にアク  
セントを加えて  
いる。

\*明治屋ビル\*



協議会役員の

‘私のイチ押し！まちなみパーツ’

『大阪市中央区今橋三丁目にある正門の横に銅座跡の石碑が建っている。はじめて今橋通りを訪れた人は、高層ビルの建ち並ぶ大阪のオフィス街に大きな瓦葺きの建物を見て驚きを隠さない。

いったい何の建物だろうと近づいてみると「大阪市立愛珠幼稚園」と書いてある。「銅座跡」の文字と見比べている。そこで大きな勘違いが起こる。江戸時代にあった銅座の建物をそのまま幼稚園の施設として流用していると考える人も少なくない。

かつて昭和の時代までは住宅建設において重量のある瓦屋根がその大半を占めていたが未曾有の大震災を何度も体験し、耐震性が重要視されている。江戸から明治に移り文明開化であらゆるものが大きな変化を遂げたが、こと建物に関しての文明開化は昭和から平成に移るときになされたのかもしれない。

来春から愛珠幼稚園の建物は約2年間の耐震補強の工事に入る。今後まちに瓦の波が連なる風景はみられなくなることだろうが、1901年に船場の皆様のわが子を珠の如く愛でる思いで建てられた園舎、未永く遺していきたい施設である。』

川上 潤

協議会役員の‘私のイチ押し！まちなみパーツ’

『適塾の西に隣接する適塾史跡公園の奥には小さな鉄製の造形物がある。和でも洋でも周りの雰囲気と良く調和する不思議な意匠となっている。その造形物のスリットになっている隙間を覗くと電球がある。どうやら照明のようだ。その隙間から洩れる僅かな明かりも夜間ほとんど人気のないこの場所では心強い輝きとなっていることであろう。』

川上 潤

### 3. 船場動物園      ～ せんば Zoo ～

こんなところにライオンが!?パンダが!?船場のまちは動物園です。  
あなたのお気に入りを見つけてください。

まだまだ見つかっていない動物がいるかもしれません。  
発見したら、ぜひ教えてください。



# せんば Zoo



Animal \* Map

せんばどうぶつえん



大日本製薬 4兄弟のうちの長男・次男。残りの二人は愛知の常滑にあるINAXライブミュージアムと、大日本住友製薬資料館にいる。

協議会役員の「私のイチ押し！まちなみパーツ」  
「我輩は犬である。何の関心も示さず我が物顔のワンちゃん2匹。  
馬鹿にしたような顔つきで胴長の猫を見下ろすオーム君。  
…通り過ぎようとする脚をチョット立ち止まさせる陽だまりのビル的一角。」

@オーミビル 1F、ミカレディ ブラジルコレクション  
宿谷良一

協議会役員の「私のイチ押し！まちなみパーツ」

「ワー 大きいわあ！ あっちゃ向き こっちゃ向きの馬さんたちやねー。」

村橋紗知

協議会役員の「私のイチ押し！まちなみパーツ」  
「かわいくって道修町にぴったり！！」

村橋紗知

漢方マルヘイ薬局のパンダ。  
実は「ニーハオ・シンシン」という名前があって、漫画家「手塚治虫」の虫プロがデザインしたそう。日本中医薬研究会の取扱商品に「パンダマーク」として入っている。

生駒ビルディングの鷲。  
設計時はフクロウであったのを  
施主が夜や闇を連想させて暗  
いからといって鷲に変更した。

綿業会館の植物装飾